



本郷学園

会津美里町立本郷学園
令和6年度学校だよりNo.26
令和6年11月14日
発行者 校長 星 潔

個別懇談・三者面談 ありがとうございました！！

11月7日から本日まで、6日間にわたり実施いたしました「個別懇談、三者面談」におかれましては、お忙しい中ご来校いただき、誠にありがとうございました。お陰様で、ご家庭と学校が手を携えて、お子様のより良い成長に向けた話し合いができました。今後も「**チーム本学**」として、ご家庭と連携しながら、お子様の健やかな成長に向けまして、共に前に進んでいきたいと思っております。どうぞ変わらぬご支援、ご協力を何卒よろしくお願いいたします。なお、お子様のことで心配なことなどがありましたら、随時担任までお話しください。

分かる・できる授業力をつくっていくために！

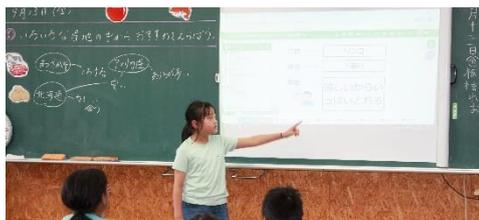
先週号の「学びの充実に向けて！」の記事でも紹介しましたが、本校では、福島県教育センターの指導主事の先生に複数回お出でいただき、授業改善についてご指導いただきました。児童生徒にとって「わかる・できる」授業にするために、そして子ども達の笑顔が授業で輝くようにしていくためにです。当たり前ですが、学校のほとんどの時間は授業です。教職員にとっても子ども達にとっても授業が1番大切です。そのためにはこのように研修を受け、授業力向上を目指していくことはもちろんですが、授業準備にかけられる時間を確保することが大切です。教職員の超過勤務について、報道等で話題になることがあります。そのために本校でも、様々な点で見直しをし、授業準備にかけられる時間をしっかりと整えていくことが必要になります。特に業務内容、業務時間の改善が授業充実のためには必要になります。福島県教育委員会では「教職員働き方アクションプラン(令和6年度～令和10年度)」を示しています。目標は以下の通りです。

- ① 仕事と私生活を両立できていると感じる教職員の割合80%以上を目指します。
- ② 質の高い授業をするために、授業の準備や自己研さんのための時間を確保できていると感じる教職員の割合80%以上を目指します。
- ③ 全教職員の時間外勤務時間を、月45時間以内かつ年360時間以内にします。
- ④ 児童生徒等に係る通常予見することのできない業務量の大幅な増加があった場合でも、時間外勤務時間が月80時間を超える教職員をゼロにします。

本郷学園では10月に時間外勤務時間が45時間を超えた教職員が3分の1ほどいました。他の月ではもっと多いです。教職員が元気に笑顔でいることが、子ども達の笑顔や学力向上につながっていくので、校長としてこれは大きな問題点となっています。令和10年度までにこの4つの項目を達成していくため、そして1番は授業準備にかけられるための時間を確保するためにはどうすればよいか、保護者の皆様のご理解をお願いしながら決断して参りたいと思っております。

福島県教育センターの先生からご指導を受けた授業を紹介します。

① 9月13日 3年生社会科「店ではたらく人」



きちんと自分の言葉で説明できる子ども達を目指しています。



学びの足跡がわかる黒板づくりを目指しています。

タブレットを活用し、調べたり、まとめたり、友達の考えに触れたりしています。一人一人の学びが充実しています



② 10月30日 6年算数科「並べ方と組み合わせ方」



子ども達が学びたいくなる思いを引き出そうとしています。笑顔いっぱいです。

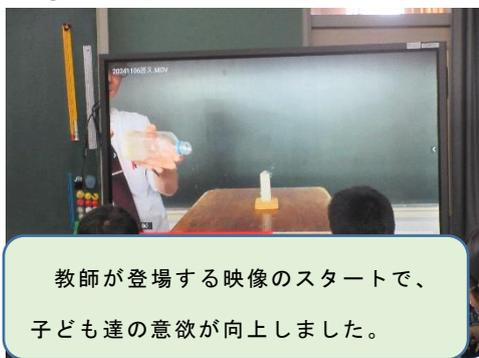


タブレットを使って一人で学んだことをみんなで話し合っ学び合います。

子ども達が発表したことを更に分かりやすく教師が示します。



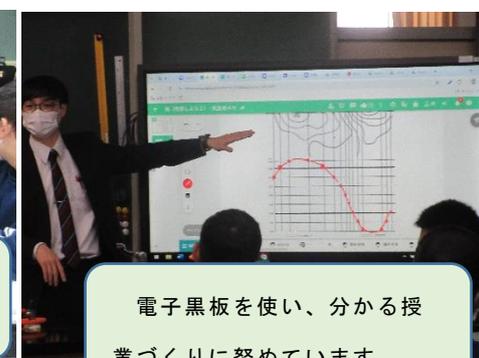
③ 11月6日 8年理科「気圧と風」



教師が登場する映像のスタートで、子ども達の意欲が向上しました。



友達の考えに触れながら、学びを進め、更に自分の考えを深めます。



電子黒板を使い、分かる授業づくりに努めています。

校長のひとりごと

今週号は授業のことを掲載しました。教職員が一生懸命に構築した授業で、子ども達の笑顔あふれる姿がたくさん見られるのは嬉しいことです。もちろん学校は、時に悔しかったり、がっかりしたりなど、様々なマイナスの気持ちになることがあります。そのマイナスの中から学び成長することが多々あります。しかし、やはり「分かった、できた」などのプラスの部分が増え、教職員も子ども達も、もちろん保護者の皆様も笑顔があふれる姿がたくさん見られれば嬉しいです。我が子が下校後、「聞いて。聞いて。」と笑顔で学校の話をもっとよくしてくれた日は、こちらも笑顔になりました。本郷学園から笑顔の花をたくさん咲かせていきたいと思ひます。